

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2022年 2月 6日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」沼津金岡校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	②	職員の配置数は適切である	○			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		絵カードや約束カードを作る等、安全対策のために工夫している。	バリアフリー化を進める等、安全な環境整備に努めていく。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		感染対策を重視した環境整備や清掃を実施している。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			定期ミーティングの回数を増やす等してPDCAサイクルを徹底していく。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		ご意見BOXを設置している。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		実施に向けて準備中
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修に参加できない職員にも研修内容の共有をしている。	今後、外部研修にも積極的に参加したい。
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者のニーズに合わせた支援ができるよう計画を作成し実施している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			

の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		保護者からの要望にできる範囲で対応するよう努めている。 個別支援計画に迫るべく活動内容を計画し、支援の方向性を職員で共有している。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員間で情報共有し、適宜活動内容を相談している。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		支援記録が、支援の方向性や内容確認のひとつとなるようにしている。	発達段階や特性に合わせ、引き続き活動内容について検討していく。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		月曜開所日や祝日に集団活動を行うこともある。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			
	関係機関や保護者と	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		○	
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
㉓		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				対象者なし

の 連 携	②4	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				対象者なし
	②5	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		幼稚園との連携(記録の交換)を行っている。	
	②6	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		要望に応じていく。
	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		他機関との連携を個別支援にいかせるようしたい。
	②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		要望に応じていく。
	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○			要望に応じていく。 事業所内相談支援を充実させる等、相談の機会を積極的に提供していく。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		要望に合わせて計画していく。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		掲示物、配布物、LINE、ブログを活用して発信に努めている。	広報活動への意識を職員間で統一することで取組を強化していく。

	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		要望に応じていく
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		児童の発達段階に合わせた訓練となるよう計画している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている				事業所内での飲食はない
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		職員間で共有することで安全対策を徹底するよう努めている。	事例報告への意識を職員間で統一することで取組を強化していく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2022年2月6日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」沼津金岡校 保護者等数（児童数）：12 回収数：11 割合：92%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11				子どもによって大小の部屋を選べるのは良い。	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	11					
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11					
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	11				清潔で明るい。安心して過ごすことができています。	環境整備に引き続き努めていく。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	11				困りごとを汲み、先の事を見据えて計画が作られている。相談したことに対する対応がとてもはやい。	保護者との連携を引き続き大切にしていきたい。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11				必要な支援や目標を一覧表でいただけるのでわかりやすいです。内容も具体的。	子ども実態を正確に捉えるとともに、保護者の要望に添えるよう、モニタリング実施と個別計画の見直しを適宜行っていく。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	11				毎回違うゲーム等を取り入れてもらい楽しそう。子どものレベルや好み、その日の調子に合わせた臨機応変な対応はすごい！	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	1	3	3	通園しているので交流は必要か？コロナにより難しいのでは？小人数活動に参加することで交流できている。	通園をしている、または通園を控えているお子様にご利用いただいている。

保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11				変更があった時も説明があり安心。初回から毎回しっかりと説明があり満足している。	
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	11					
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	8	1	1	1	日々の会話の中にも含まれている感じがする。	事業所内相談支援を含め、個別の相談に積極的に応じていく。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11				話しやすく相談しやすい環境。コロナ禍で難しいと思うが、参観日のように子どもの様子を見ることができるとよい。	感染対策を考慮しながら、参観の希望がある保護者にはその機会を提供できるよう計画したい。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	1	1			
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	2	2	4	保護者同士で話せる機会があった。保護者同士で情報交換する場があれば参加したい。	今後、要望に応じていきたい。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	11				発達に関する相談事にいつも対応してもらっている。日程調整等も聞いて頂き助かっている。アドバイスだけでなく、希望を活動にすぐ取り入れてくれた。	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11				フィードバックが丁寧で話しやすい	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	11					
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	11					
	非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	11				
㉑		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9	1		1	事前に説明も受け、子どもが防災訓練に参加できてよかった。	引き続き、発達段階に合わせた訓練を工夫して実施できるようにする。

満足度	㊦	子どもは通所を楽しみにしているか	11				毎回楽しみにしている。 スタッフ皆さんが優しいので、安心して過ごしている。 きらりに行くよと言うとささっと準備して玄関に待機しています!!	
	㊧	事業所の支援に満足しているか	11				気さくに相談でき適切な支援をもらっている。 相談するとすぐに対応してアドバイスをいただくことができ、母子共に満足している。	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。